

病歴・就労状況等申立書

No. ー 枚中

(請求する病気やけがが複数ある場合は、それぞれ用紙を分けて記入してください。)

| 病歴状況 | 傷病名 | 知的障がい |
|--|--|---|
| 発病日 | 平成 13 年 10 月 5 日 | 初診日 平成 13 年 10 月 5 日 |
| <p>記入する前にお読みください。</p> <p>○ 次の欄には障害の原因となった病気やけがについて、<u>発病したときから現在までの経過</u>を年月順に期間をあけずに記入してください。</p> <p>○ 受診していた期間は、通院期間、受診回数、入院期間、治療経過、医師から指示された事項、転医・受診中止の理由、日常生活状況、就労状況などを記入してください。</p> <p>○ 受診していなかった期間は、その理由、自覚症状の程度、日常生活状況、就労状況などについて具体的に記入してください。</p> <p>○ 健康診断などで障害の原因となった病気やけがについて指摘されたことも記入してください。</p> <p>○ 同一の医療機関を長期間受診していた場合、医療機関を長期間受診していなかった場合、発病から初診までが長期間の場合は、その期間を3年から5年ごとに区切って記入してください。</p> | | |
| 1 | 平成 13 年 10 月 5 日から 平成 20 年 3 月 31 日まで <input type="checkbox"/> 受診した ・ <input checked="" type="checkbox"/> 受診していない 医療機関名 | 発病した時の状態と発病から初診までの間の状況（先天性疾患は出生時から初診まで） 3人兄弟の2番目（長男）の子どもとして出生した。 1歳を過ぎた頃でも喃語があまり出でこず、2歳頃になってようやく2～3の単語が出る程度だった。 言葉以外の成長も姉と比べて遅いように感じていた。 3歳時の発育検査で発達が少し遅れていると指摘されたため、発達を促すために幼稚園に入園前に親子交流会に積極的に参加するようにしていた。 幼稚園では他の子ども達が動くのを見てから行動していたので、先生から「行動がいつも遅い」と言われていた。 他の園児と遊ぶことは少なく、一人で遊んでいることが多かった。 |
| 2 | 平成 20 年 4 月 1 日から 平成 26 年 3 月 31 日まで <input type="checkbox"/> 受診した ・ <input checked="" type="checkbox"/> 受診していない 医療機関名 | 左の期間の状況 小学校は普通学級で過ごしていた。 小学3年生頃から学習の遅れが目立つようになった。 割り算や分数の理解が難しく、算数教室に通わせるようにしたが、ついていけずすぐに辞めてしまった。 国語や算数のテストも文章問題になるとどのように答えるのか分からないようだった。 小学4年生の担任の先生に「教育センターに相談に行った方がよいのでは」と言われた。 平成23年12月8日、教育センターでWISC-III検査を受けた。 検査結果では知的障がいであること、学習面でのサポートが必要なことなどが指摘されていた。 先生から支援学級へ移動するように勧められていたが、引き続き普通学級に通学させていた。 |
| 3 | 平成 26 年 4 月 1 日から 平成 29 年 3 月 31 日まで <input type="checkbox"/> 受診した ・ <input checked="" type="checkbox"/> 受診していない 医療機関名 | 左の期間の状況 中学校も普通学級で過ごしていた。 小学校の時以上に学習面で遅れが目立っていた。 国語のテストでは何を問いつけられているか分からず、白紙の状態でも提出していた。 英単語や文法、その他の教科もできず、通知簿ではほとんどの教科が1や2ばかりの成績だった。 中学2年生から特別支援学級で過ごすようになった。 特定の教科は普通学級で過ごしていたが、普通学級に戻りながら、精神的な不調から体調を崩した時期もあった。 |
| 4 | 平成 29 年 4 月 1 日から 令和 1 年 9 月 2 日まで <input type="checkbox"/> 受診した ・ <input checked="" type="checkbox"/> 受診していない 医療機関名 | 左の期間の状況 高校は普通学校へ通学するのは難しいと思ったため、障がいのある子ども達に配慮のある単位制の高等学校に入学した。 授業では基礎から学び、分からないところは皆で教え合うスタイルの学校で、先生たちの見守りによって3年間を過ごすことができた。 生活面では中学時代の同級生と金銭面でトラブルになったことがあった。 お金を貸してと言われると、素直に自分の持っているお金を全て渡していた。 他人からすぐに騙されてしまうような危うさがあった。 高校卒業後の進路相談を先生にしたところ、療育手帳のことを教えてもらった。 |
| 5 | 令和 1 年 9 月 3 日から 元号を選んでください 年 月 日まで <input checked="" type="checkbox"/> 受診した ・ <input type="checkbox"/> 受診していない 医療機関名 ○○○クリニック | 左の期間の状況 令和1年9月3日、○○○クリニックを受診した。 WAI S-III検査を受けたところ、軽度知的障がいであるとされ、療育手帳B2が交付された。 高校を卒業後はB型就労支援施設に通所し、商品の袋詰めやシール貼りなどの作業を行なうようになった。 現在もB型就労支援施設に通所している。 |

※裏面（署名欄）も記入してください。